

別府湾岸・国東半島海への道

■地域のねらい

- ・海岸線の魅力、美しさの再発見、創出、地域の誇りの醸成
- ・地域主体の協働のもと、原風景の質向上、活動により地域活性化、観光振興をめざす
- ・訪れた人を、ねんごろにもてなします
Remember to welcome strangers in your home.
(別府観光の父 油屋熊八のモットー)
- ・一過性で終わらない協議運営

■活動エリアと地域資源

- ・国東半島沿岸(国道213号)から別府湾岸沿線(国道10号、臨海産業道路・主要地方道大在大分港線、197号、217号)を中心とする地域。
- ・六郷満山と呼ばれる神仏集合の独特な仏教文化が伝わる各種歴史遺産だけではなく、独特な地形なため、朝日と夕陽を楽しむことができる国東半島。現代アートも盛んになっている。
- ・別府八湯ではいつもどこかでまち歩きが行われている。別府湾岸に目を向ければ湯けむり風景、おさるで有名な高崎山の麓を通る別大国道の風光明媚な風景が広がり、マイツリーと呼ばれる活動が行われている。
- ・関埼灯台は、1901年に点灯した大分県最古の灯台。ここから眺める豊予海峡は、「せとうち風景30選」にも選ばれており、ドライブコースとしても賑わっている。

■地域の活動推進体制

- ・別府湾岸・国東半島海への道推進協議会
(構成)
【民間】NPO法人大分ウォーターフロント研究会 等
(活動団体 計49団体)
- 【行政】大分県、大分市、別府市、日出町、杵築市、国東市、豊後高田市、大分河川国道事務所

■主な地域資源と活動内容

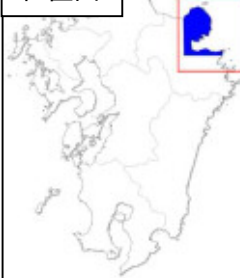


長崎鼻では菜の花まつり等イベント実施

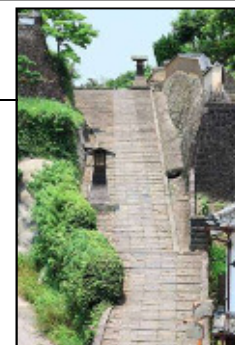


ギャラリー巡りが行われアートが盛ん。「涛音寮(とういんりょう)」と呼ばれる造り酒屋を改装したギャラリーもある。

位置図



「ザビエルが歩いた道」など多数のウォーキングポイント



“坂道の町”と呼ばれる杵築



“流し”もあるまち歩き



別大マラソンが行われる風光明媚な別大国道



かんたん港園では各種イベント開催



関埼灯台

— 国道 — 臨海産業道路・主要地方道大在大分港線 — 活動の範囲